

日米首脳会談に抗議！！

憲法会議が事務局長談話

憲法会議は2月23日、同日おこなわれた安倍晋三首相とオバマ米大統領による日米首脳会談で、日米同盟の強化、集団的自衛権行使にむけた憲法9条の解釈変更の推進などで合意したことについて、「日米同盟強化、集団的自衛権行使容認を約束し、憲法9条ないがしろ・戦争する国に向かう日米首脳会談に抗議する」との平井正事務局長談話を発表しました。

〈下記に全文〉

【談話】

日米同盟強化、集団的自衛権行使容認を約束し、憲法9条をないがしろ・戦争する国に向かう日米首脳会談に抗議する

2013年2月23日

憲法会議事務局長

平井 正

1. 安倍晋三首相は2月23日、オバマ米大統領と会談しました。

「日米同盟の信頼、強い絆が完全に復活したと宣言したい」(会談後の安倍首相の記者会見・2月23日)と語るなど、日米同盟強化が確認されました。

2. 同時に、日米防衛協力をめぐって重大な合意が交わされました。

安倍首相は、集団的自衛権行使容認に向けた憲法解釈見直しについて、検討を開始したこと、弾道ミサイル防衛についてアメリカとの協力を進めること、米軍普天間基地の辺野古移設を促進することなどを表明、オバマ大統領も米軍の早期警戒レーダーを日本に追加配備するとし、これらで両者は一致しました。

3. 安倍首相は政権に就いて以来、集団的自衛権行使容認を図り、「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」を再開させ、憲法9条へのあからさまな攻撃を開始し、憲法については、自民党「日本国憲法改正草案」実現をめざす発言を繰り返しています。

こうした中での日米両首脳での日米同盟深化の宣言と具体的な防衛協力での合意は、日本をアメリカと共に戦争する国にする極めて危険で、戦争違法化は当然とする世界の平和の流れに逆行する暴挙です。

4. 憲法会議は、あらゆる改憲策動に反対し、憲法を国民の暮らしの隅々とアジア・世界の平和に生かす立場から、今回の日米首脳会談で交わされた合意に強く抗議するものです。

以上

《資料》 参議院憲法審査会開催へ—報道から

憲法しんぶん速報版（運動情報）378号（2月22日）で伝えたとおり、参議院憲法審査会が2月27日開催される見通しです。憲法会議は「傍聴」の強化を呼びかけています。参議院憲法審査会開催をめぐる報道を資料として送ります。

27日に参院憲法審査会 「二院制」を議論

産経新聞 2013.2.22 15:17

参院憲法審査会（小坂憲次会長）は22日、幹事懇談会を開き、政権交代後初の審査会を27日に開く方向で一致した。参院の存在意義に関わる「二院制」をテーマに自由討議を行う。

参院憲法審、27日にも開催

時事通信 2013/02/22-12:59

参院憲法審査会は22日の幹事懇談会で、政権交代後初めてとなる審査会を27日に開き、二院制の在り方について自由討議を行うことで大筋合意した。2012年度補正予算案の採決日程が決まるのを待って正式決定する。

また、自民党は3月13日にも審査会を開き、参考人聴取を行うことを提案。野党は持ち帰った。（

参院審査会 二院制審議で合意

NHK2月22日 14時41分

参議院憲法審査会の幹事懇談会が開かれ、来週にも審査会を開き、国会の「二院制」をテーマに、およそ9か月ぶりに実質的な審議を行うことで、与野党が合意しました。

憲法改正の必要性を審査する参議院の憲法審査会は去年6月、国会の「二院制」と、環境権やプライバシー権などの「新しい人権」をテーマに議論を進めることで与野党が合意しましたが、その後、国会で与野党の対立が激しくなった影響で、審査会は開かれていません。

22日に開かれた憲法審査会の幹事懇談会で、与党側は「決まっている2つのテーマの議論を順次、進めたい」として、早期に審査会を開くことを提案しました。

これに対し野党側から異論は出されず、来週27日にも審査会を開いて、国会の「二院制」をテーマに、去年5月以来、およそ9か月ぶりに実質的な審議を行うことで合意しました。